

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2023. 7
No.359

社長塾 再スタート

コロナ禍の中で、中止をよぎなくされた社長塾も再開することができました。合計8クラスで延べ149名でのスタートです。

イナテックの企業理念の原点は、『稲盛哲学』をベースしております。特に「人間として正しい考え方」を常に追求・探求することが大切なことです。

心の中に何もしないとすぐに雑草が生えてきます。だから常に雑草を抜くこと。そして常に心に栄養を与えることによって、素晴らしい花は開花するのです。

「雑草を抜き、常に心に栄養を与える」とはどういうことか。それは、常に「良書」に触れ、そして自分の頭で考え「反省」をし、

「人間として正しい考え方」で行動を起こすとだと解釈しています。

稲盛さんは次のように分かり易く表現してみえます。

人間としての原理・原則(人に言う場合)

- 一、人のものを盗まない
- 二、嘘をつかない
- 三、人を騙さない
- 四、約束を守る
- 五、弱い者いじめをしない

人間として正しいかどうか(自分自身に対して言う時)

- 一、嘘をついてはいけない
- 二、人に迷惑をかけてはいけない
- 三、正直であれ
- 四、欲張ってはならない
- 五、自分のことばかり考えてはならない

以上のように非常にシンプルで分かり易く表現してみえます。我々は常にこれを身近に置き、振り返るようして下さい。

白洲次郎

【シンプル(原理・原則)のない日本】より

イナテックの顧問である「かがやきグループ」様の経営者勉強会で、白洲次郎氏の実娘さんのお話を聞くことができました。その時に説明された白洲次郎氏の考え方を紹介いたします。

白洲次郎

シンプル(原理・原則)

- 一、言い分けをしない
 - 二、筋を通して生きる
 - 三、自分がブレない、軸がブレない
 - 四、公私混同しない
- 他、働いてくれる人に親切にしろ
ゴルフ場のレストランやキャディさんに
威張るな

白洲次郎のダンディーとは

- 一、言い分けを言わない
- 二、嘘を言わない
- 三、ユーモアであれ
- 四、弱者をいじめない
- 五、そこそこかっこいい

どこか稲盛哲学と同感できるところがあるように思います。

稲盛氏は白洲次郎氏と同じく「原理・原則」を大切にしている。稲盛氏は四書五経を始めとする良書を読み実行してみえる。

白洲次郎氏は、イギリス留学の経験からジエントルマン精神を学んでみえた。そんな共通点があるのではないかと私は考えています。

白洲次郎(1902 - 1985)

1902(明治35)年、兵庫県芦屋の実業家の次男として生まれる。神戸一中卒業後、イギリス・ケンブリッジ大学に留学。帰国後は英字新聞記者を経て商社に勤務するが、1943(昭和18)年、日本の敗戦を見越して鶴川村(現・東京都町田市)で百姓となる。1945年、吉田茂に請われて終戦連絡中央事務局参与となり、日本国憲法成立などに関与。その後、貿易庁長官に就任、通商産業省を誕生させる。以後、東北電力会長などを務め、1985年逝去。

『稲垣良次メモ』より(1996年度版)

わが家の家訓 福井正憲(株)福寿園社長
「つもり十訓」

- 一、多いつもりで 少ないのが分別
- 二、あるつもりで ないのが財産
- 三、ないつもりで あるのが借金
- 四、深いつもりで 浅いのが知恵
- 五、浅いつもりで 深いのが欲
- 六、高いつもりで 低いのが見識
- 七、低いつもりで 高いのが腰
- 八、儲けるつもりで 損するのが商売
- 九、飾るつもりで 剥げるのが嘘
- 十、隠すつもりで 顕れるのが悪事

1996年に当時船井総研で学んだ一節です。

すばらしく考えられたものは、いつの時代でも色あせないものだということ。

稲盛和夫氏も白洲次郎氏も、原理・原則を大切にし、ブレない心身を鍛えてみえた。福寿園の社長も自分の視察や世の中を良く見てみえる。この仮説と検証を繰り返しても「十訓」が完成し、家訓として残してみえる先輩諸氏を見習い、一生実行せねばならぬと学ばせていただきました。

イナテックも常にブレない自分に帰るよう『人間として正しい考え方』の探求をして参ります。

社長塾再スタートに際し、思う次第です。

茶根譚後集

九〇

斗室中、萬慮都捐、説甚畫棟飛雲、珠簾捲雨。三杯後、一真自得、唯知素琴橫月、短笛吟風。

斗室トシツの中、万慮マンリョ都ト捐ケン、説セツ甚シ畫エ棟トウ飛トビ雲ウン、珠簾シユレン捲マク雨アメ。三杯サンハイ後ノチ、一真イツシン自得ジトク、唯知タカシ素琴ソクシン橫ヨコ月ツキ、短笛タンペク吟ウタ風カゼ。三杯サンハイのノチ後ノチ、一真イツシン自得ジトクすれば、唯タカシだ、素琴ソクシンを月ツキに横ヨコたえ、短笛タンペクを風カゼに吟ウタするを知るのみ。

